

令和元年度第1回射水市生活支援・介護予防サービス推進協議会

日時：9月4日（水）午後2時

場所：庁舎2階 202会議室

次 第

1 開 会

2 協議事項

（1）射水市地域支え合いネットワーク事業の進捗状況等について 【資料1】

（2）令和元年度住民サポーター講演会について 【資料2】

3 報告事項

（1）地域共生社会の推進に向けた部局横断的連携体制について 【資料3】

（2）買い物支援の取り組みについて 【資料4】

4 そ の 他

（1）今後のスケジュールについて 【資料5】

5 閉 会

射水市地域支え合いネットワーク事業の進捗状況等について

1 概要

高齢者等が地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援するため、地域の支え合い体制の整備、住民主体の多様なサービスの創出等を実施する団体の設立準備等を行う、射水市地域支え合いネットワーク事業を平成29年4月から本格実施している。

(1) 事業実施地域（15地区で実施／27地区）

放生津、新湊、庄西、作道、堀岡、七美、塚原、三ヶ、戸破、金山、中太閤山、南太閤山、浅井、大島、下
(令和元年8月1日現在)

(2) 他地域の進捗状況

別紙一覧表【参考1】参照

(3) 第2層協議体

地域支え合いネットワーク事業の成果や課題を他地区と情報共有及び意見交換し、広域的な「つながり」づくりを目的に、第2層協議体（「みんなでつなげる地域支えあい会議」）を地域包括支援センター圏域ごとに立ち上げる。

開催年度	協議体 ※網掛け実施済				
平成29年度	新湊西	新湊東	小杉・下	小杉南	大門・大島
平成30年度	新湊西	新湊東	小杉・下	小杉南	大門・大島
令和元年度 (R1.8月まで)	新湊西	新湊東	小杉・下	小杉南	大門・大島

[参考] 地域包括支援センター圏域

新湊西 : 庄西、塚原、作道、新湊

新湊東 : 放生津、片口、堀岡、海老江、七美、本江

小杉・下 : 三ヶ、戸破、大江、下

小杉南 : 橋下条、金山、黒河、池多、太閤山、中太閤山、南太閤山

大門・大島 : 浅井、櫛田、水戸田、二口、大門、大島

2 講演会・研修会

(1) 第3層生活支援コーディネーター研修会

ア 日 時 令和元年7月24日（水）午後1時30分から午後3時40分まで

イ 場 所 ミライクル館 研修室（クリーンピア射水場内）

ウ 内 容 講義「食品衛生の基礎知識」 富山県高岡厚生センター射水支所 小島主任
情報交換会「活動の継続と広がりを目指して」【参考2参照】
オ 参加者 37人

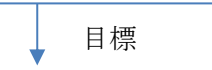
3 普及・啓発

- (1) 射水市地域支え合いネットワーク事業活動事例集の更新
平成29年度から作成している地域支え合いネットワーク事業活動事例集について、内容を更新したものを作成予定
- (2) 住民サポーター講演会、住民サポーター研修会の開催
- (3) 未実施地区を対象に市政出前講座を開催

4 今後について

住民サポーター講演会や地域振興会等への説明を通じ、令和元年度中に20地区において、事業の実施を目標とする。

年度	実施地区
平成28年度（モデル事業）	6地区
平成29年度	10地区
平成30年度	15地区
令和元年度	20地区
令和2年度	25地区
令和3年度	27地区



5 検討事項

地域支え合いネットワーク事業の推進について

令和元年度 住民サポーター講演会

「みんなで学ぼう！地域支え合い講演会」について

1 趣旨

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域包括ケアシステムの構築に向けた地域での支え合い体制を推進するため、住民サポーター講演会を開催してきた。

地域での支え合い体制構築の必要性について普及啓発するとともに、地域活動に参画する新たな人材を発掘するための実施方法等について検討する。

2 今年度講演会

- (1) 日 時 令和元年11月18日（月）および19日（火）

※2日間の開催とし、講演内容は同じとする。

- (2) 場 所 射水市役所 会議室 【令和元年11月18日（月）】

新湊交流会館 ホール【令和元年11月19日（火）】

- (3) 講 師

ご近所クリエイション ご近所福祉クリエイター 酒井 保（さかい たもつ）氏

- (4) 講師プロフィール

1961年 広島生まれ。知的障がい者施設、市町社会福祉協議会、認知症グループホーム・小規模多機能施設の施設長を経て、2014年8月に「ご近所福祉クリエイション」を創設（主宰）。ご近所福祉クリエイターという肩書きのもと、広島と仙台を拠点として、全国各地を講演行脚中。岩手県陸前高田市地域包括ケアコーディネーター。平成28年度より、宮城県塩釜市、福島県楡葉町における地域支え合い活動の立ち上げ等にかかる諸事業に参画。イラストレーター。

主な著書：「見守り活動」から「見守られ活動」へ〔CLC活動〕

生活支援コーディネーターと協議体（共同執筆）〔CLC活動〕

「月刊・地域支え合い情報」に『平成向こう三軒両隣事情』を連載中

- (5) 演題（講演テーマ）

『地域での支え合いの意義・重要性（仮）』

3 周知方法

- (1) 各団体代表者等への郵送案内

案内先：地域振興会、地区社会福祉協議会、老人クラブ、地域ふれあいサロン、きららか射水100歳体操グループ

- (2) 広報いみずにて掲載

- (3) いみずケーブルテレビ「福祉の時間」にて放映

- (4) チラシ

※チラシはコミュニティセンター及び庁舎等に設置予定。

4 検討事項

(1) 周知方法、周知先

(2) 受講者を担い手に繋げる方法

5 参考

これまでの講演会の内容・周知方法

開催年度	講演会内容	案内先
平成28年度	講演：「支え合える地域をめざして」 講師：公益財団法人さわやか福祉財団 清水 肇子 氏 ※講演他、助け合い体験ゲーム、グループワーク実施	地域振興会、地区社会福祉協議会、老人クラブ、地域ふれあいサロン、まちづくり大学卒業生
平成29年度 ①	講座：「支え合いの仕組みづくりについて」 講師：実家の茶の間 紫竹 代表 河田 桂子 氏	地域振興会、地区社会福祉協議会
平成29年度 ②	講演：「助け合い・支え合いの意義について」 講師：公益財団法人さわやか福祉財団 高橋 望 氏 ※講演他、地域支え合いネットワークモデル事業活動発表実施	
平成30年度	講演：「地域で暮らし続けるために」 講師：富山福祉短期大学 学長 炭谷 靖子 氏 ※講演他、個人ワーク「地域で暮らし続けるために自分ができること、やりたいこと」実施	老人クラブ、地域ふれあいサロン、きららか射水100歳体操グループ

※これまでは各団体代表者等への郵送案内のみ

地域共生社会の推進に向けた部局内横断的連携体制について

1 概要

誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域共生社会の実現を目指す上で、地域における複合的で多様なニーズに的確に対応するためには、これまでの縦割りの支援制度では困難であることが想定される。

このような支援ニーズに的確に対応していくため、まずは、福祉保健部局内で地域共生社会等連絡会議（以下、「連絡会議」という。）を実施し、各課で所管する共生社会推進にかかる事業とその実施課題を共有し、部局内横断的な連携体制の確立と地域共生社会に関する共通認識を図る。

2 連絡会議の構成

連絡会議は、福祉保健部各課（地域福祉課、社会福祉課、介護保険課、保険年金課、子育て支援課、保健センター）の課長補佐、係長、主査職により構成

3 連絡会議の主な協議事項

- 【第1回】平成30年12月26日（連絡会議の主旨説明）
- 【第2回】平成31年1月18日（共生社会推進に関する各課所管事業の洗い出しについて）
- 【第3回】平成31年2月15日（各課所管の事業の説明）
- 【第4回】平成31年3月15日（連携可能な事業の洗い出しについて）
- 【第5回】平成31年4月19日（特定健診受診率向上を図る部局内横断的な連携事業について）
- 【第6回】令和元年5月17日（地域包括ケア推進に係る保険者努力支援制度について）
- 【第7回】令和元年6月28日（特定健診率向上を図る部局内横断的な連携事業の具体的な実施方法について）
- 【第8回】令和元年7月19日（高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について）
- 【第9回】令和元年8月23日（高齢者のフレイル対策事業について）

4 具体的な取組み

第1弾連携事業

地域支え合いネットワーク事業実施地域において特定健診受診率向上を図る取組みを実施

- (1) 日時 令和元年8月6日(火)14:30～15:30
- (2) 場所 戸破コミュニティセンター
- (3) 内容 健康ミニ講座及び福祉相談会
- (4) 参加者 戸破地域支え合い事業（にこにこカフェ）参加者32名（男:9名、女29名）
保険年金課3名、保健センター4名、介護保険課2名、地域福祉課1名

5 今後について

高齢、障害、児童等の対象者ごとに充実させてきた福祉サービスについて、複合化するニーズへの対応を強化するために、福祉保健部局内連携の更なる強化を図り、情報等を共有する。

具体的な今後の取組みとしては、地域特性に基づいた健康指導や介護予防を、連携事業として実施していく。

買い物支援の取り組みについて

1 課題

地域課題会議において、「加齢により自家用車の運転ができなくなったときに、買い物に不安がある」という意見が多く出ている。

2 買い物支援の現状

(1) 下地区 コミュニティバスを利用した買い物体験ツアー 【参考3参照】

ア 内容

地域振興会の要望により、平成31年4月から、コミュニティバス 新湊・呉羽線において、大阪屋ショップ呉羽店及びアルビス呉羽本郷店に降車できるようルートが改正された。そこで、地区の高齢者がコミュニティバスを活用して買い物ができるようになることを目的に、買い物体験ツアーを実施した。

イ 日時

令和元年6月18日（火）午前9時30分から午前11時まで

ウ 場所

大阪屋ショップ呉羽店、アルビス呉羽本郷店

エ 参加人数

21人

(2) 移動販売車「とくし丸」の参入 【参考4参照】

ア 内容

令和元年7月から、各地域で協議・判断の上、移動販売車「とくし丸」が参入している。参入頻度は週1、2回。拠点から個人宅にも広まりつつある。

イ 参入地域

地域	地域振興会	場所（行政区等）
新湊	作道	鏡宮、殿村、野村、久々湊、津幡江
	片口	片口高場
	堀岡	草岡町
	七美	七美コミュニティセンター（※いこいの家開催時）
小杉	三ヶ	白銀町
	戸破	末永町、手崎
	金山	野手、浄土寺、金山、上野
	池多	山本新、土代
大門	櫛田	本村、荒町、小泉、竹原、松原、大久保、布目沢
下	下	下村デイサービスセンター

(3) 市による中小企業・小規模企業支援策

ア 内容

商店街団体や商工団体、民間事業者、NPO 法人等が買い物困難地域(近隣の小売店舗の閉店等により日常生活に不便が生じている地域)において、移動販売等の買い物支援サービスを行う事業に要する経費を、県と連携して支援している。

イ 補助率

1 / 3 補助限度額 500 千円

※「富山県買い物サービス支援事業」(補助率 1 / 3 補助限度額 500 千円)の採用者を対象とし、県・市合わせて 2 / 3 の補助を行うもの。

今後のスケジュールについて

実施時期	スケジュール
令和元年 9月4日	○令和元年度第1回 射水市生活支援・介護予防サービス推進協議会
11月 18日19日	○住民サポーター講演会 「みんなで学ぼう！地域支え合い講演会」
令和2年 1月～2月	○住民サポーター研修会 ○介護予防・生活支援サービス従事者養成研修 ・研修修了者と事業所のマッチング
2月～3月	○令和元年度第2回 射水市生活支援・介護予防サービス推進協議会